

## 中古文学会関西西部会第六六回例会 発表要旨

発表① 『陽成院歌合（惜秋意）』における恋歌的表現

広島大学大学院 顧宇豪氏

（要旨）延喜十三年九月九日に成立した「陽成院歌合（惜秋意）」は、「惜秋意」を歌題にした歌合である。本歌合は陽成院一門の文芸活動を記録した資料として貴重である。本歌合の表現を見ると、秋に関する季節の表現の他に、恋歌的表現が特に目立っている。本発表の内容は、本歌合における恋歌的表現に注目し、それらの表現に対する考察を通して、本歌合の特徴乃至陽成院一門の文芸趣向を探るための試みとなっている。

②発表 『うつほ物語』本文考―流布本・浜田本・木曾本系統をめぐって―

天理大学附属天理図書館 高橋諒氏

（要旨）『うつほ物語』の現存諸本は前田本系、そこから派生した流布本・浜田本・木曾本系の計四系統が知られている。従来の伝本研究においては最有力伝本の前田本系のみが専ら検討対象とされており、他三系統についての言及は僅少である。本発表では、これら三系統の本文を検討し、各々がどのように形成されたのか、前田本系統との比較から明らかにする。現存四系統がいかに派生し、伝播していったのか、その実態に迫りたい。